



1. 有袋ふじの葉とりを行う白井さん
- 2~5. 畑の必需品。Bluetooth、マキタのラジオ、何かと使えるロープ、バヤ切り鋏。
6. 異変があれば吠えて教えてくれるまるんちゃん。落ち実の袋はぎもお手の物！ 優秀なパートナーだ。

「つがるをもちでるときは地獄かと思った」

就農4年目。白井さんは藍内地区でリンゴ畑を持ち、平日は1人、土日は家族や友人らと作業している。今年のつがるは夏の高温により色がのらない上に、生食用リンゴは鳥獣被害にあった。しかし終わってみれば、ある程度箱数がまとまってよかったと安堵した。

住んでいるのは弘前市街地だが、祖父（故 三上輝男さん）の家が藍内で、リンゴとキノコの栽培をしており、幼少期はよく遊びに行っていた。自身が会社員として働いていた時、畑を処分するかどうかの話が持ち上がり「もったいない！せつかくの畑だからやってみる」と即断し農家になった。

最近母からこう言われた「祖父が生前『いいリンゴを作りたい』と言っていた。今度はあなたの番」。『リンゴ』とは何か。白井さんは「自分の作ったリンゴを、昨年は特に喜んでもらえてすごく嬉しかった。その時に『いいリンゴ』って、食べてほしい人に『おいしい』と言ってもらえることなのかな、と思った」。有袋ふじを作るのが好きだと言う。「真っ白なリンゴが段々ピンクになるのがかわいい」。大切な人たちを笑顔にする、いいリンゴを、これからも作り続けてほしい。

JA相馬村広報

# りんごの森

2023.10 Vol.495

■ 発行者 相馬村農業協同組合  
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1  
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■ 編集 総務課広報  
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>  
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■ 発行日 2023年10月15日

本所	0172-84-3215(代)
本所フルーツステーション	0172-84-3293(代)
本所フルーツステーション特産販売	0172-84-3218(代)
J A 共済事故受付センター	0120-258931
湯口支所・機械化センター	0172-84-2470(代)
湯口セルフスタンド	0172-84-2550(代)
直売所「林檎の森」	0172-84-3411(代)
津軽LPガス保安センター	0172-36-0404(代)
ライスセンター	0172-84-2217(代)
りんご加工センターA棟	0172-84-3380(代)
相馬支所・フルーツステーション	0172-84-2534(代)
J A 津軽葬祭センター	0120-7676-60